

# 朝日の山並み

発行  
朝日少年自然の家  
0237(62)4125  
FAX (62)4126

## パワー全開！とびっきりの夏

七月二十八日(火)から八月二日(日)まで、五泊六日の日程で「朝少チャレンジキャンプ」が行われました。『パワー全開！とびっきりの夏』をテーマに、小学四年生から六年生までの参加者二十九人が、大自然を舞台にチャレンジ満載の毎日を過ごしました。今年も天候にも恵まれ、まさに「とびっきりの」六日間になりました。

二日目の志津キャンプ場では、ブナ森の中での仲間作りのゲームやカレー作り、夜のボンファイアーなどを行いました。初対面の参加者同士が、大自然の中でみるみる仲良しになっていきました。

三日目は、月山登山です。リフトを降りた後、まずは姥ヶ岳を目指して登り始めました。眼下には雲海が広がり、楽しんでいた庄内平野の眺めは見るにはできませんでしたが、雪のかたわらには可憐な高山植物が咲き、気持ち



ちよく登山を続けることができました。九合目を過ぎると、山道は険しさを増していきました。それでも、お互いに励まし合いながら、ひたすら頂上を目指しました。全員で登頂を果たした後に食べたおにぎりは格別の味でした。下山した後は、水沢温泉で疲れを癒しました。



そして、五日目。最後のチャレンジになる最上川のいかだ下りです。竹の組み方、ひもの結び方を教わり、みんなでいかだを作って最上川に浮かべました。底が引っかかるような浅瀬や、吸い込まれそうな急流、こいでもこいでもなかなか進まないゆっくりに流れたら、難所が次々に訪れます。大江町から中山町まで、長い長い距離でしたが、声を合わせてパドルをこぎ乗り越えました。すべての班が無事川下りを成功させることができました。ゴールの川岸に到着した時、仲間との絆はさらに強まりました。

その日の夜はフェアウェル・パーティー。このキャンプで出会った仲間と、最後の夜も歌や踊りで大いに盛り上がりました。班ごとの出し物も大成功でした。この六日間のキャンプは、参加者一人一人に達成感と大きな自信をもたらすものになりました。